

第 40 回土木計画学研究発表会（秋大会）：2009 年 11 月 21 日～23 日（金沢大学）
セッション討議内容の記録

セッション名：緊急時交通	
日付：11月22日（日）曜日、セッション時間：9：00～10：30	
司会者名（所属）：高木 朗義（岐阜大学）	
討 議 内 容	<p>セッション全体： 3 件とも大変貴重な発表であり、今後継続して新しい知見をたくさん出されることが期待される。 議論の詳細は以下のとおり。</p>
	<p>（204）近藤竜平（道都高速（株））： ・都市（医療）と交通の両方を考えているのが興味深い。両者の重みは？ ・完全途絶の場合の計算処理は？ ・ジニ係数を使うと目的と違う文脈になるのでは？</p>
	<p>（205）福田正輝（金沢大学）： ・平均だけでなく、分布が重要 わからない。 ・クリティカルな時間とそれを越えるか越えないかが重要 ・軽症という分類は先にはわからない。後から分かるもの。 ・地域差が大きいと思うが？ 今年度全国調査中なので今後示したい。 ・正規分布を仮定していいのか？ ・DID 面積比率を入れてはどうか？ ・消防署の統廃合問題や市町合併の影響分析を目的にしている。</p>
	<p>（206）橋本 直樹（九州大学院）： ・10% 20 数%になっている程度なので、交通規制で避難に役立つとは思えない。 ・避難時は心理面の影響の方が大きいのではないか。このシミュレーションは通常の冠水時の状況再現に役立てた方がよいのでは？ ・避難より冠水時の交通状況を再現しては？ ・情報が重要 / 効いてくる。 ・人と車が混合する中での歩行状況を表現されては？ ・避難所入口のボトルネックを再現しては？</p>